

— 南総地区の人口 —
 人口 20,030人
 男 10,117人
 女 9,913人
 世帯数 10,082世帯
 令和6年11月1日現在

ふれあい

地域で守ろう『福祉のまち、南総』

編集

南総地区社協広報委員会

発行責任者

会長 児井 敏雄

事務局

南部エリア推進センター内

電話 92-1481

福祉バザーは盛況 吉野台太鼓連の迫力ある演奏も



福祉バザー（南総公民館体育室）



☞ 地区社協の情報については
こちらをご覧ください。

令和6年11月17日（日）南総公民館で福祉バザーを開催しました。

今年の福祉バザーは新しい試みとして、吉野台太鼓連による演奏をお願いいたしました。

バザーの開始前に、多くのお客様が列を作ってお待ちくださいました。先頭の方は4時間も前に来られたとのことと、開催の期待が高いことを実感いたしました。

後半は例年どおり商品の再値付けをしたことで大量にお買い上げ頂く方もおり、商品の棚は空きが目立ってきました。そして最後は太鼓のリズムに合わせて、お買い物のスピードも加速したようでした。商品及びご寄付金を頂きました皆様ありがとうございました。（会長 児井 敏雄）

【令和6年度福祉バザー実施報告】

バザー売上げ	339,040円
お楽しみコーナー	11,000円
寄附金 (募金箱による寄附を含む)	220,620円
合計	570,660円



吉野台太鼓連の演奏

《南総地区社協の重点的な取組み》

日常生活支援事業の拡大

☞ 支援活動事業の内容は地域の皆様のご理解が徐々に進んでいるように思います。引き続き、お役に立てる事業に努めてまいります。



制服リユース活動展開

☞ 中学校を卒業した方や住民の方々から多くの制服やジャージなどのご寄附をいただきました。制服の寄附やリユースを希望される方はなのはな館にご相談ください。



支援者宅での現地調査

子どもの居場所づくり

☞ 子どもの居場所づくりにご協力いただける方を募集中です。

日常生活支援事業始まる !!

昨年からの試行実施を経て、おかげ様で本年4月1日から日常生活支援事業開始の運びとなりました。
10月25日現在12件の支援要請をいただき、このうち4件については支援要請に基づき作業を実施しました。

支援要請件数	実施件数	作業内容
12	4	草刈り・草取り

残念ながら実施しなかった8件の内容は、作業項目がなく今後の課題となった事例1件、支援要請者からの申し入れにより中止となった案件1件でありました。

実施しなかった件数

件数	作業内容	理由
6	草刈り、樹木伐採等	日常生活適用外
1	買い物品配達	他の支援を希望
1	家具の移動	希望取り下げ



なお、適用外6件のうち1件については、樹木の伐採が大規模でありシルバー人材派遣からも断られ途方に暮れていたことから、ボランティア団体(町会内の互助会的支援活動に加え困りごとへの対応をしている)を紹介致しました。残り5件については庭の草刈り・草取りであるものの、日常生活に直接支障とならないケースであったことから対象外としたものです。

今後地区社協として協力団体等との連携を深めていくと共に、それぞれ独自の取り組みとして「地域の中で住民同士が見守り・声かけを通じて気づいた日常生活支援策」を、注意深く見守っていきます。

お問合せ

南総地区社会福祉協議会事務局

TEL 070-5579-7626

※毎週土曜日13時～15時

上記時間帯以外は、

南部エリア推進センター(なのはな館内)

TEL 0436-92-1481

※年末年始、祝日は休館

賛助会費・寄付ありがとうございました

令和6年11月末現在

賛助会費

個人	389,200円
団体	399,400円
合計	788,600円

寄付

市原南ライオンズクラブより、
南総地区の福祉活動に役立てて
ほしいとの意向から、地区社協へ
ご寄付いただきました。

(令和6年5月)





牛久小学校区小域福祉ネットワーク

“住民同士が見守り・声かけ”

私たちは、『活動の活性化と継続性・新たな福祉への貢献・次世代への橋渡し』を目標に活動しています。そのなかでも「住民同士が小グループ単位で見守り、声かけで支え合う」地区社協の活動目標を念頭に、『安心生活見守り支援事業』を強化するためにここ数年間、専門委員会として立上げ活動を強化してきました。特に年に一度の安心訪問員全体会議で情報の共有化を図り、各種関係団体に専門的なアドバイスをいただくとともに、訪問員への活動支援も可能な限り行うこととしています。



安心訪問員が安心をお届けします

また、この見守り活動を通して、「早期に気づき、連携し支援につなげる」

『日常生活支援活動』に積極的に参画することで本事業への連携が可能となり、

“訪問時の会話のつながりから”今年度、既に2件の依頼があり、適用対象案件として2件のお手伝いが出来ました。

現在見守り対象者37名を訪問員32名の体制で活動を進めていますが、地区の民生委員の方々の協力があるの支援体制で有難い限りです。今後ともよろしくお願いいたします。

(会長 山本 義雄)



平三地区小域福祉ネットワーク

『平三地区おたすけ隊』の目指すもの

平成26年度に設立された『平三小学校区小域福祉ネットワーク』は、時代や地域の変遷に応じてその都度対処してきました。

近年、平三地域でも高齢化が確実に進み、住民の生活に支障をきたす事例が町会やネットワークの集まりで聞かれることが多くなってきました。そこで、『①協力者は応募方式を採用。②活動範囲を狭く限定する。③生活支援依頼は有償とし、南総地区社会福祉協議会の料金体制に準ずる。④出来る範囲で実施し、平三方式を作る』の視点から案を作り、役員会で検討してきた組織が『平三地区おたすけ隊』です。

具体的には、自分の町会の方の依頼に限って支援するA部門（協力者55名）と、平三地区全域の住民の福祉を目的に実施される事業（ボッチャ大会など）の運営を支援するB部門（協力者18名）の2部門です。

現在、A部門では、1件の草刈り依頼があり対応しました。この最初の1件を検討して運用の不足を見直し、充実を図っていく予定です。

B部門では、スポーツ推進員協力の下、11月3日にボッチャ大会を実施し、また11月25日には、平三地区の老人会の皆さんと鶴舞小学校1、2年生児童と一緒に昔遊びの体験授業の支援協力をするなどの活動を行っております。

(会長 金高元郎)



ボッチャ大会の様子 (旧平三小学校)



令和6年度で寺谷小学校が閉校



昭和56年に創立され、その歴史と伝統に培われた寺谷小学校も、令和7年3月末をもって最後の日を迎える事になりました。4月から子どもたちは、牛久小学校と戸田小学校に通うことになります。寺谷の地から小学校が無くなるのは、まことに寂しいかぎりではありますが、昨今の少子化の波には逆らえません。創立当時500人以上いた子どもたちは、今は43人となりました。



寺谷小学校の校歌に

「白鷺舞うか菅の谷 ひがし吉野の夕かすみ 人新しく地は古く 和む心の美しい…」の一節があります。

素晴らしい環境と心温かい人達に恵まれた寺谷の地に建てられたこの校舎からは多くの卒業生が巣立っていきました。

また、学校のシンボルとして、校庭にある大きなプラタナスの樹も静かに子どもたちの成長を見守ってくれました。これからも卒業生たちの心の支えとして、根を張り続けて欲しいものです。

永きに渡りまして、学校を支えていただきました地域の皆様、先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

表彰おめでとうございます

千葉県社会福祉協議会会長表彰

民生委員児童委員として、多年にわたり、社会福祉の発展に寄与されました。

高橋 久男 様 (戸田)



なのはな館 情報



おかげさまで、なのはな館も10周年を迎えることができました。平成27年にオープンして以来、多くの皆さまからご愛顧いただき、大変感謝しています。

これからも、地域の皆さまの健康と福祉の向上に寄与できるよう、職員一同精進してまいります。

令和7年2月22日に「なのはなフェスタ」も開催しますので多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

編集後記

今年も、年末が近づいています。元旦に発生した能登半島の地震と大雨による災害は、全国から公助や共助の支援が行われて、たくさんのボランティアの方々が活動しています。災害に遭った方々は、公助や共助の支援が無なければ復興に立ち上がる事は困難でしょう。

私達の住む地域も高齢化が進行しており、地域の支援を必要とする方がたくさんいます。暮らしやすい地域に向けて、日常生活支援事業がさらに進んでいくことを期待します。

来年こそは、コロナウィルス感染も少なくなり、明るい日常生活が迎えられるように願っています。

編集委員

河津	敏郎 (内田)
加藤	功 (牛久)
大井	守 (鶴舞)
金高	義幸 (平三)
牧野	雅夫 (戸田)
前川	清 (寺谷)